

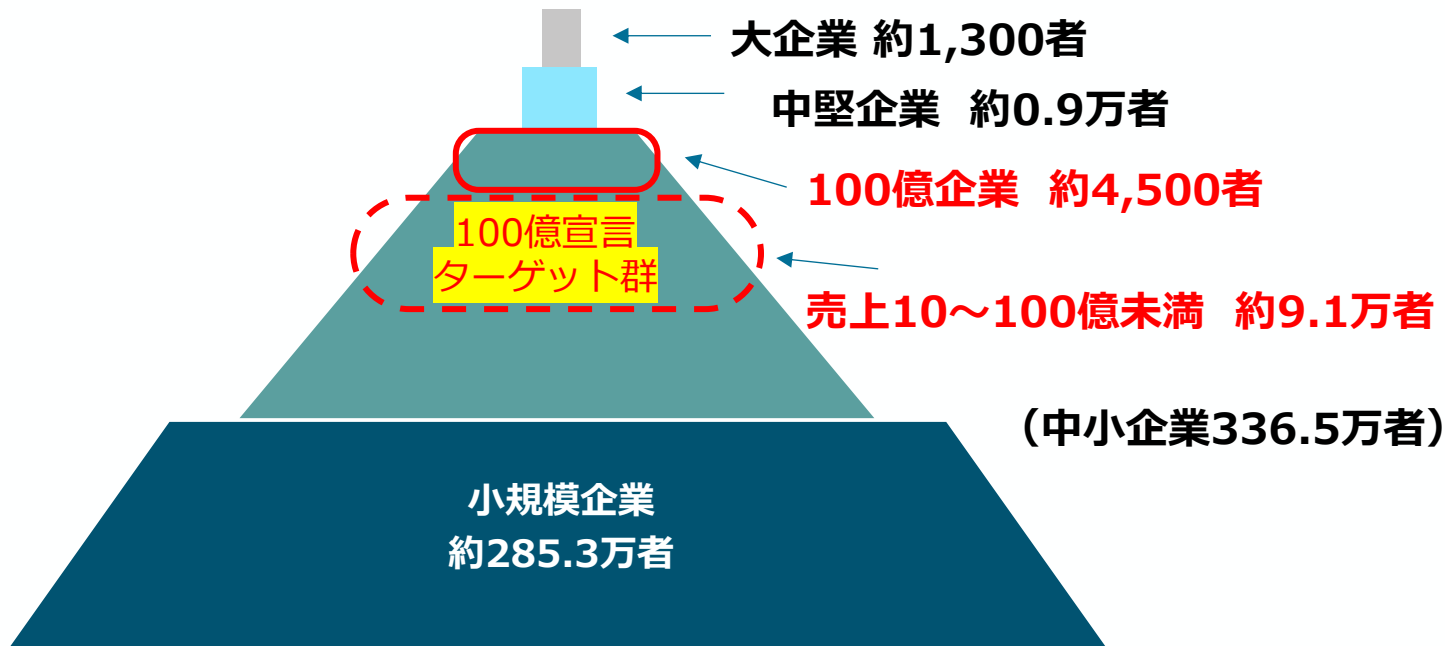
100億企業創出に向けた施策の方向性

2025年10月7日

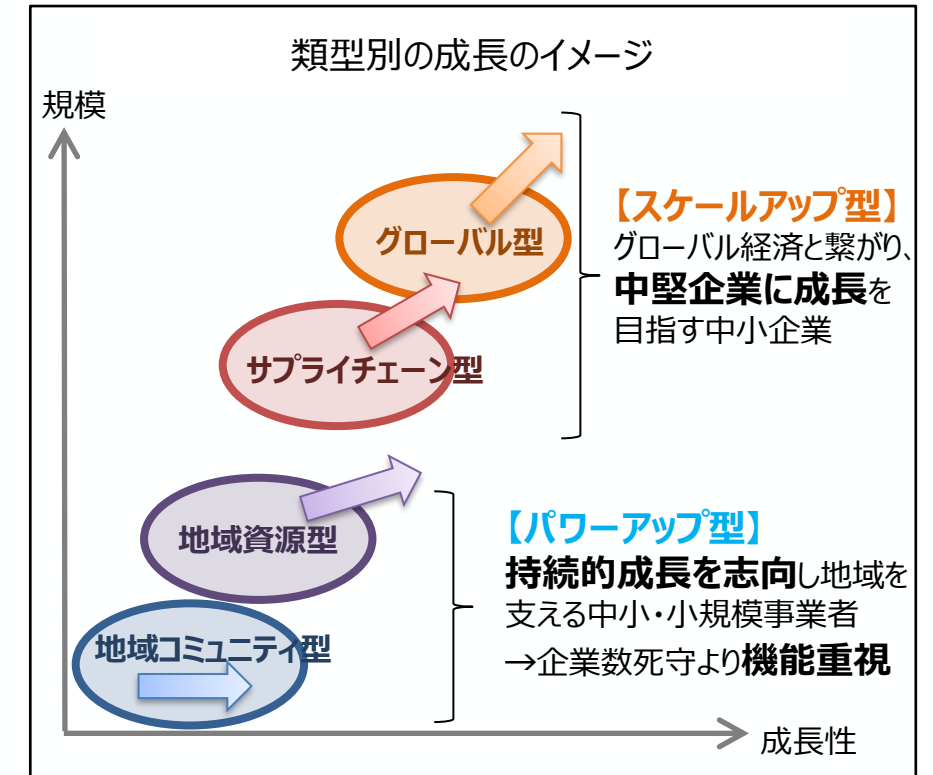
中小企業庁

成長志向の中小企業に向けた支援の始動

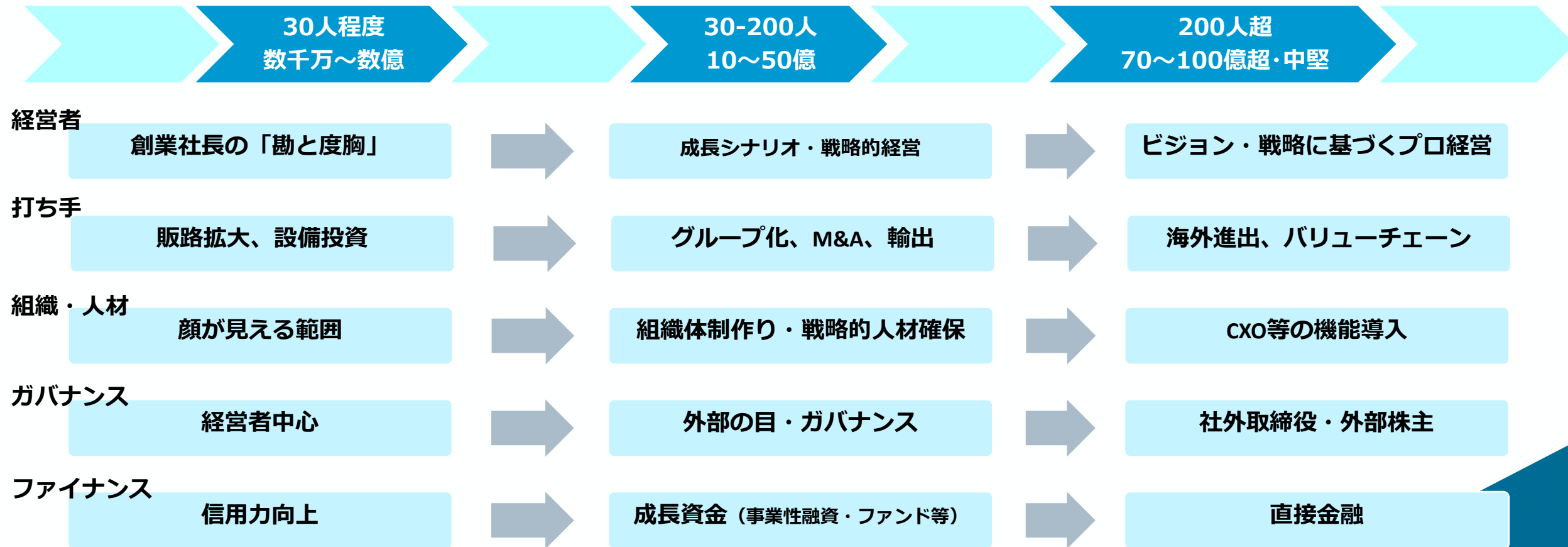
- 今年度より成長志向の中小企業に向けた支援枠組み（「100億宣言」）を新たに開始。
- 売上高100億円を目指す中小企業が、実現に向けた取組（成長投資や賃上げなど）を表明。現在約1,900社が表明。
- 「100億宣言企業」は地域への波及効果大。宣言企業に対する成長加速化補助金などの支援策を実施。今後、輸出拡大に向けた支援も課題。
- 当該補助金には全国から1,270件の応募。経営者のプレゼン審査を経て、9月19日に採択発表。採択者の平均投資額は12.6億円、平均金賃上げ率は5.9%と意欲的な投資計画になっている。



(出所) 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」再編加工



成長とともに変化する課題



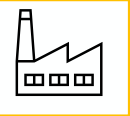
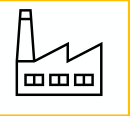
売上10億未満
約327万者

売上10～50億
約7.9万者
(中小企業の2.3%)

売上50～100億未満
約1.2万者
(中小企業の0.3%)

売上100億企業
0.5万者
(中小企業の0.1%)

事業規模や成長ステージにきめ細かく対応した中小企業政策

売上規模 イメージ		事業者数	売上拡大	高付加価値化	省力化・デジタル化	新事業挑戦
100億円以上	大企業	約1,300者	 中堅・中小成長投資補助金	 ものづくり補助金	 IT補助金	 新事業進出補助金
	中堅企業	約0.9万者				
	中小企業	約4,500者				
100億未満 10億円		約9万者	成長加速化補助金	 ものづくり補助金	 IT補助金	 新事業進出補助金
10億円 1億円		約60万者	事業承継M&A補助金			
1億円 1,000万円		約140万者	持続化補助金			
1,000万円以下		約140万者	持続化補助金	 省力化投資補助金	 IT補助金	 新事業進出補助金

✓ 会社を急成長させたい
✓ 上場を目指したい

✓ 新しい機械で新商品を作りたい
✓ 海外展開に取り組みたい

✓ 今の経営手法を活かして異分野に進出したい

✓ 承継前に事業を磨きたい
✓ M&Aにより統合効果を出したい

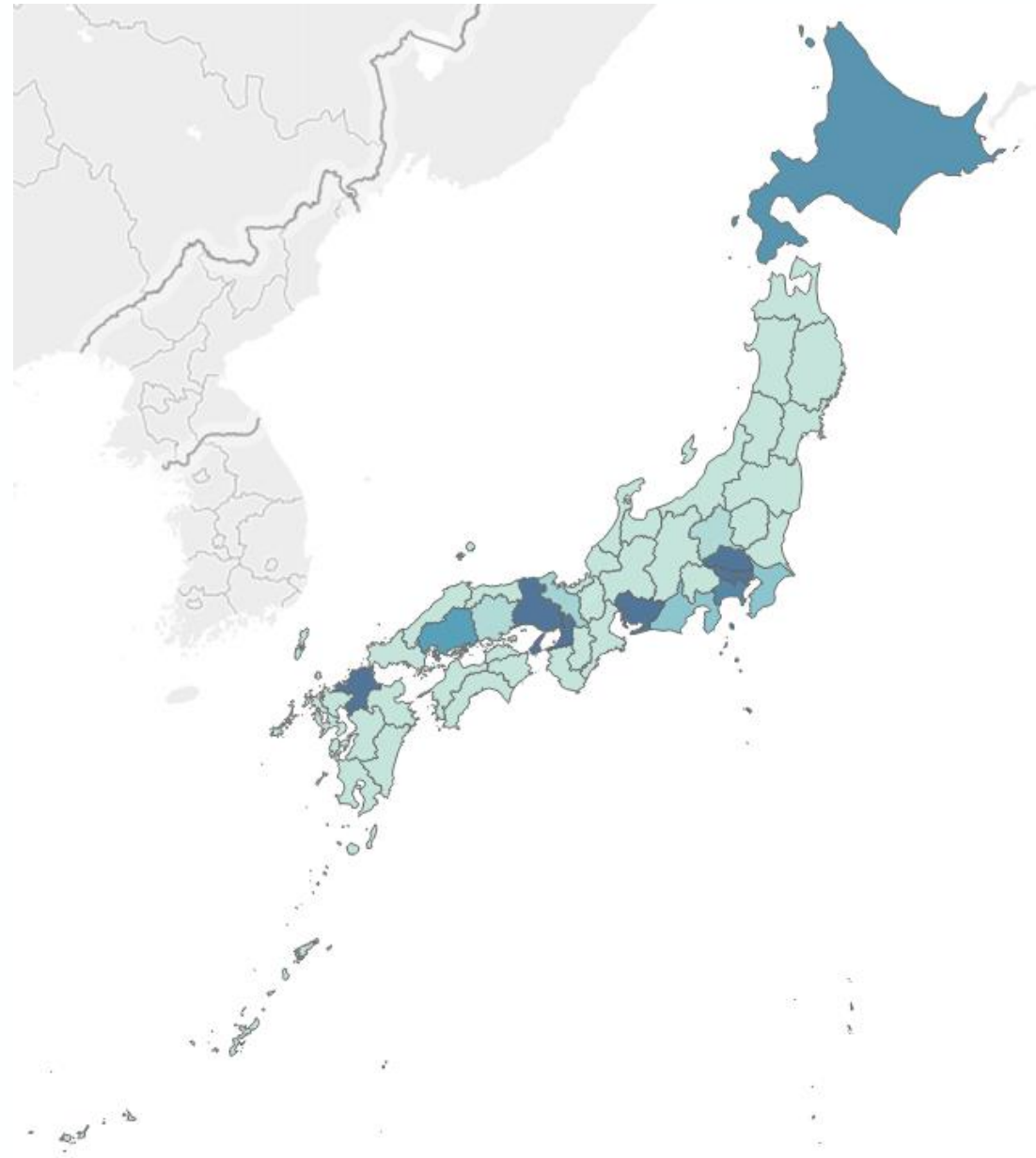
✓ 商品をPRしたい
✓ 販路を拡げたい

✓ 人手不足に対応したい
✓ 生産プロセスを改善したい

✓ 創業に挑戦したい

100億宣言の状況

- 5月8日申請受付以降、100億宣言の件数は伸び続け、**現在約1,900件**。足下では、**毎月100件程度の増加**。



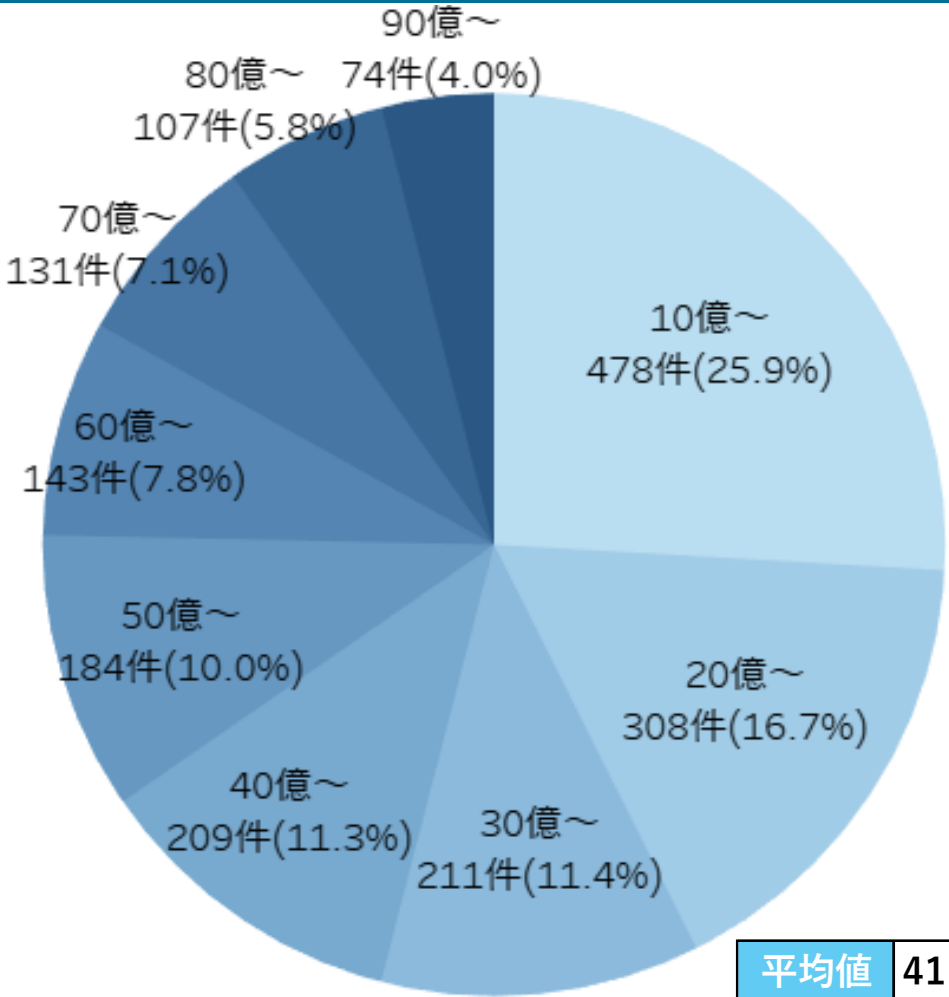
都道府県	件数
東京	291
大阪	192
愛知	152
埼玉	72
福岡	71
兵庫	71
神奈川	65
北海道	62
広島	59
静岡	49
千葉	49
京都	45
岡山	43
群馬	43
長野	37
岐阜	36

都道府県	件数
茨城	31
新潟	30
宮城	28
熊本	28
三重	23
石川	23
滋賀	21
富山	21
山口	20
奈良	20
愛媛	19
栃木	19
和歌山	18
鹿児島	15
岩手	14
山形	14

都道府県	件数
福島	14
沖縄	13
大分	13
鳥取	13
宮崎	12
香川	12
高知	12
山梨	12
青森	12
佐賀	11
福井	11
長崎	10
秋田	7
徳島	7
島根	5

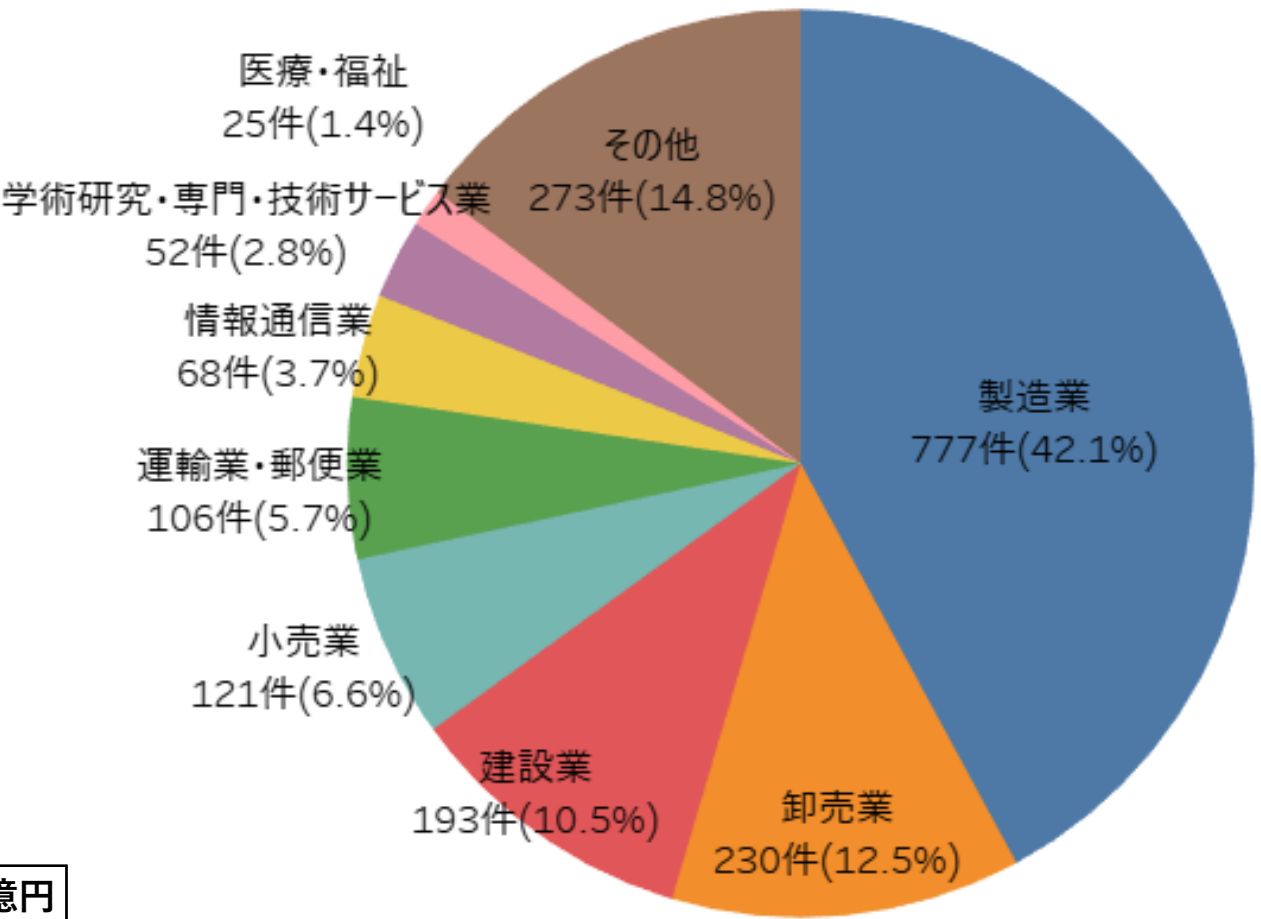
100億宣言の状況

売上高別宣言数



平均値	41.4億円
中央値	35.8億円

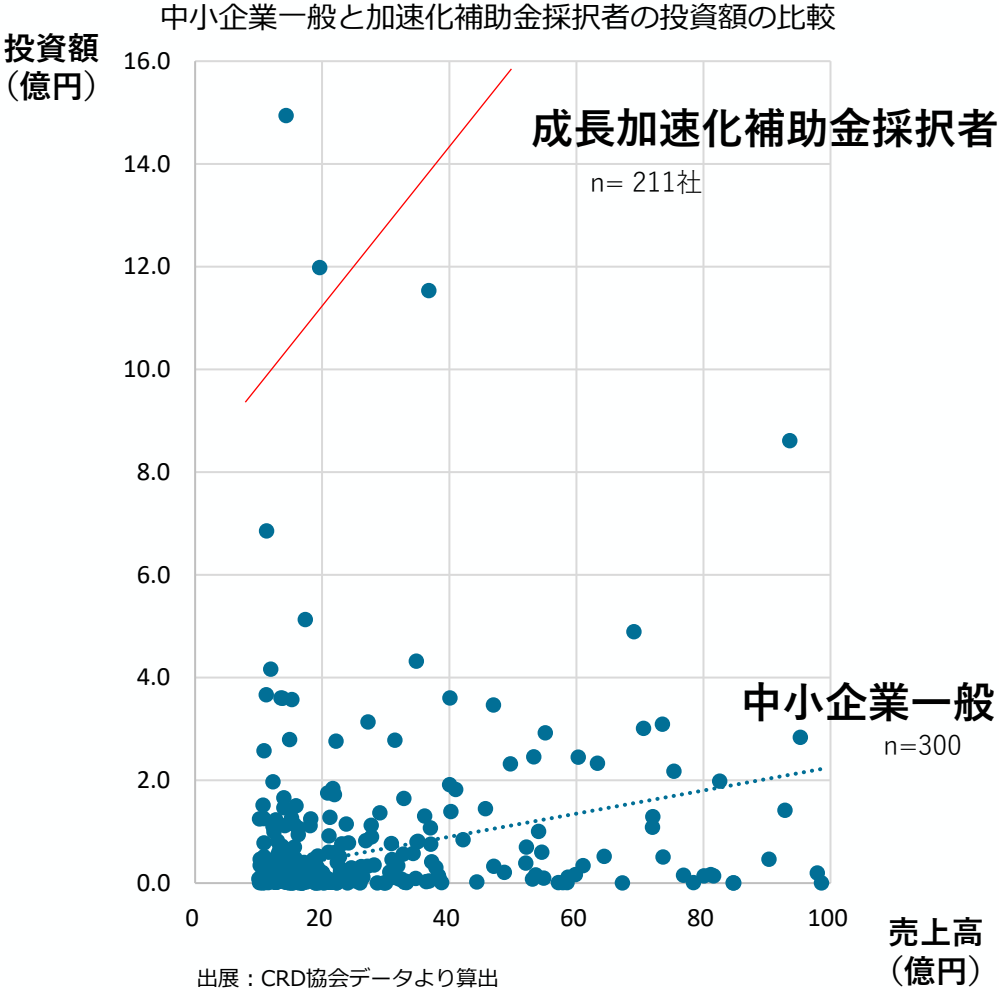
業種別宣言数



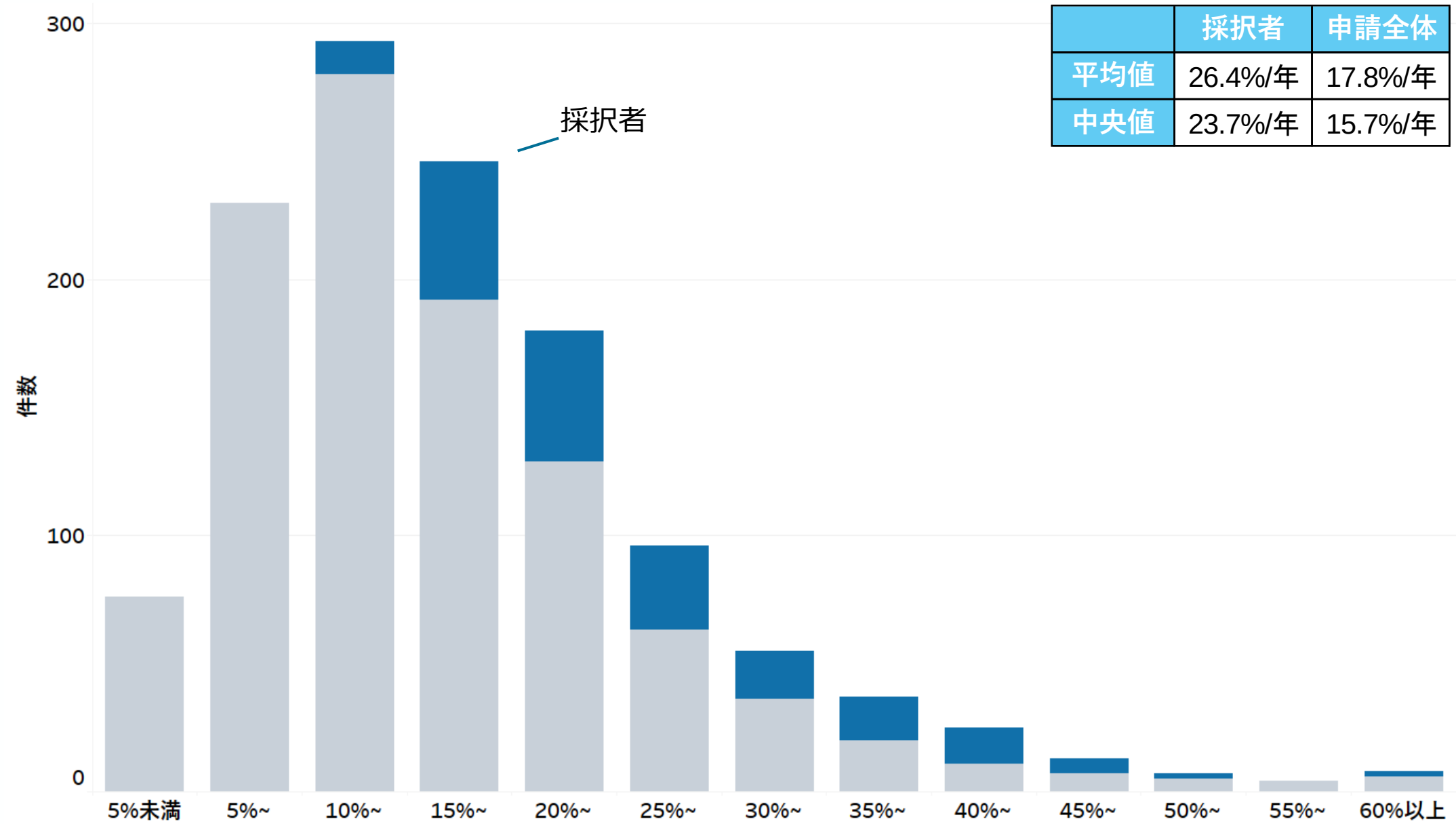
100億企業の賃上げ・投資インパクト

	成長加速化補助金 採択者 n=211	中小企業 n=104,827
投資額	12.6億 ※事業計画（最大2年）の投資額	1.2億 ※年間投資額
売上高成長率	26.4%	6.8%
付加価値増加率	27.5%	5.1%
売上高投資比率	53.5% ※事業計画（最大2年）の比率	1.3%
賃上げ率	5.9%	4.7%

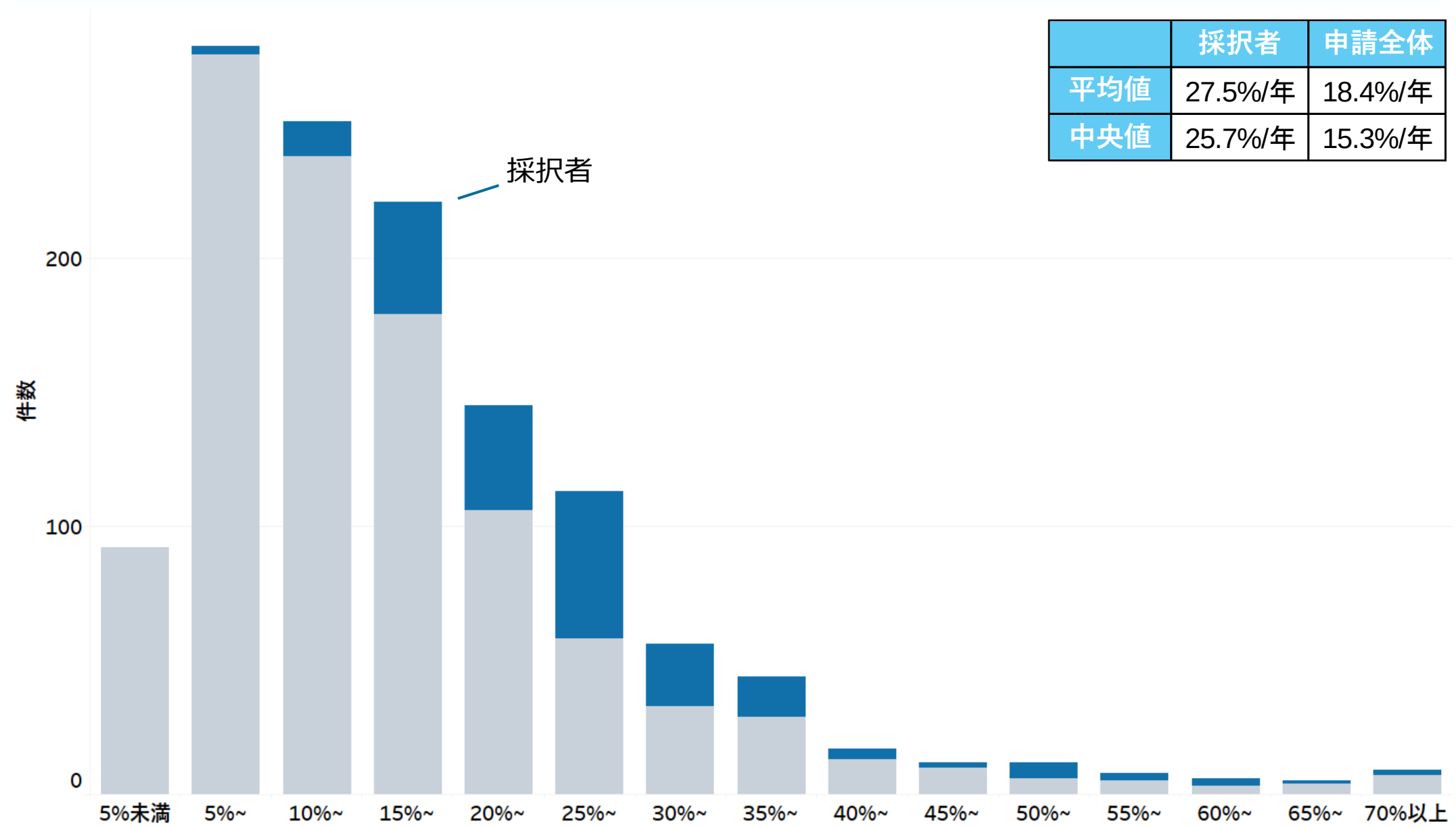
出典：成長加速化補助金採択者は中小企業成長加速化補助金採択者申請データ
中小企業の投資額、売上高成長率、付加価値増加率、売上高投資比率は2023年度中小企業実態基本調査における売上10億円超の中小企業より算出。賃上げ率は連合「2025年春闘」より引用。



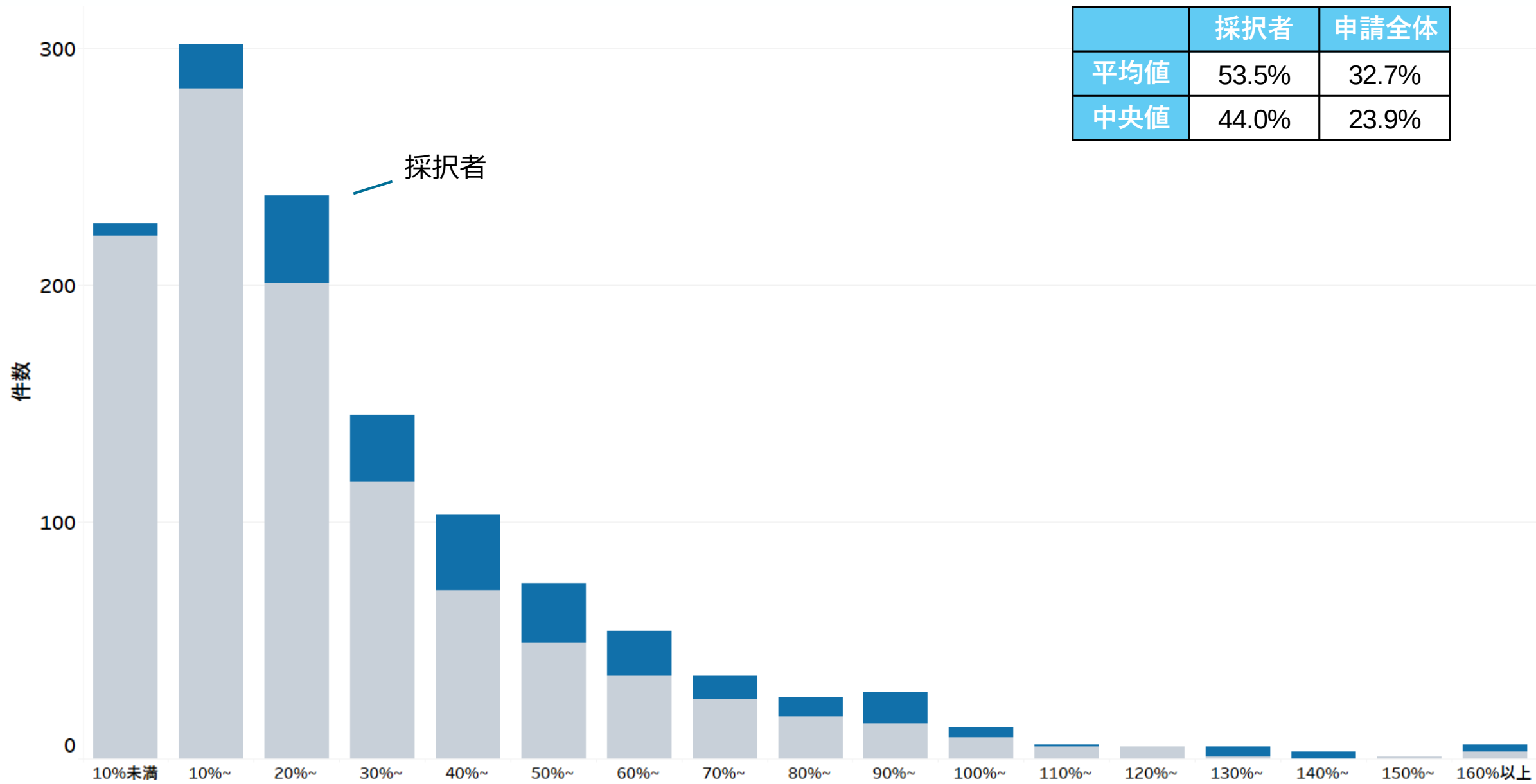
成長加速化補助金 売上成長率の分布



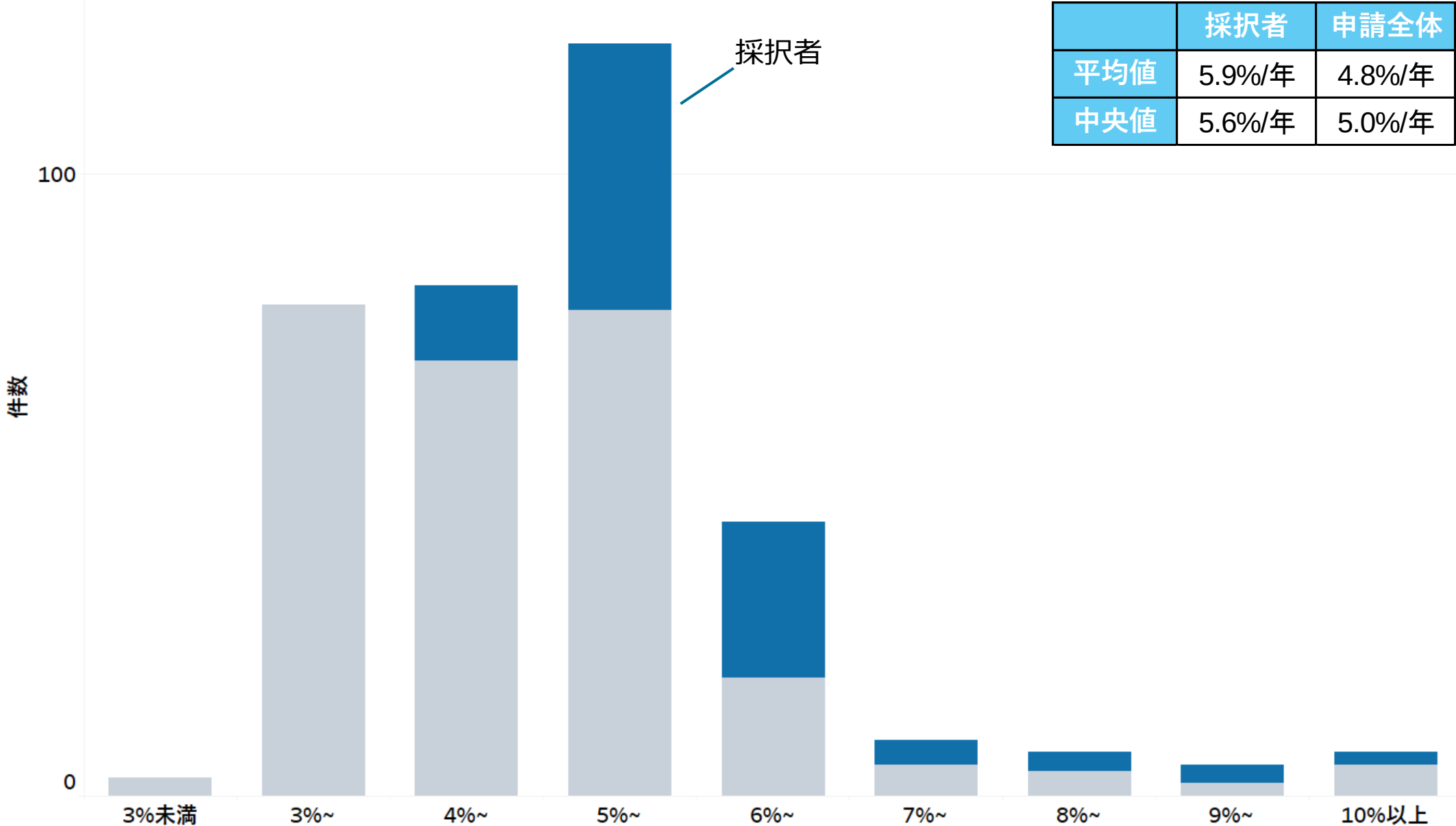
成長加速化補助金 付加価値増加率の分布



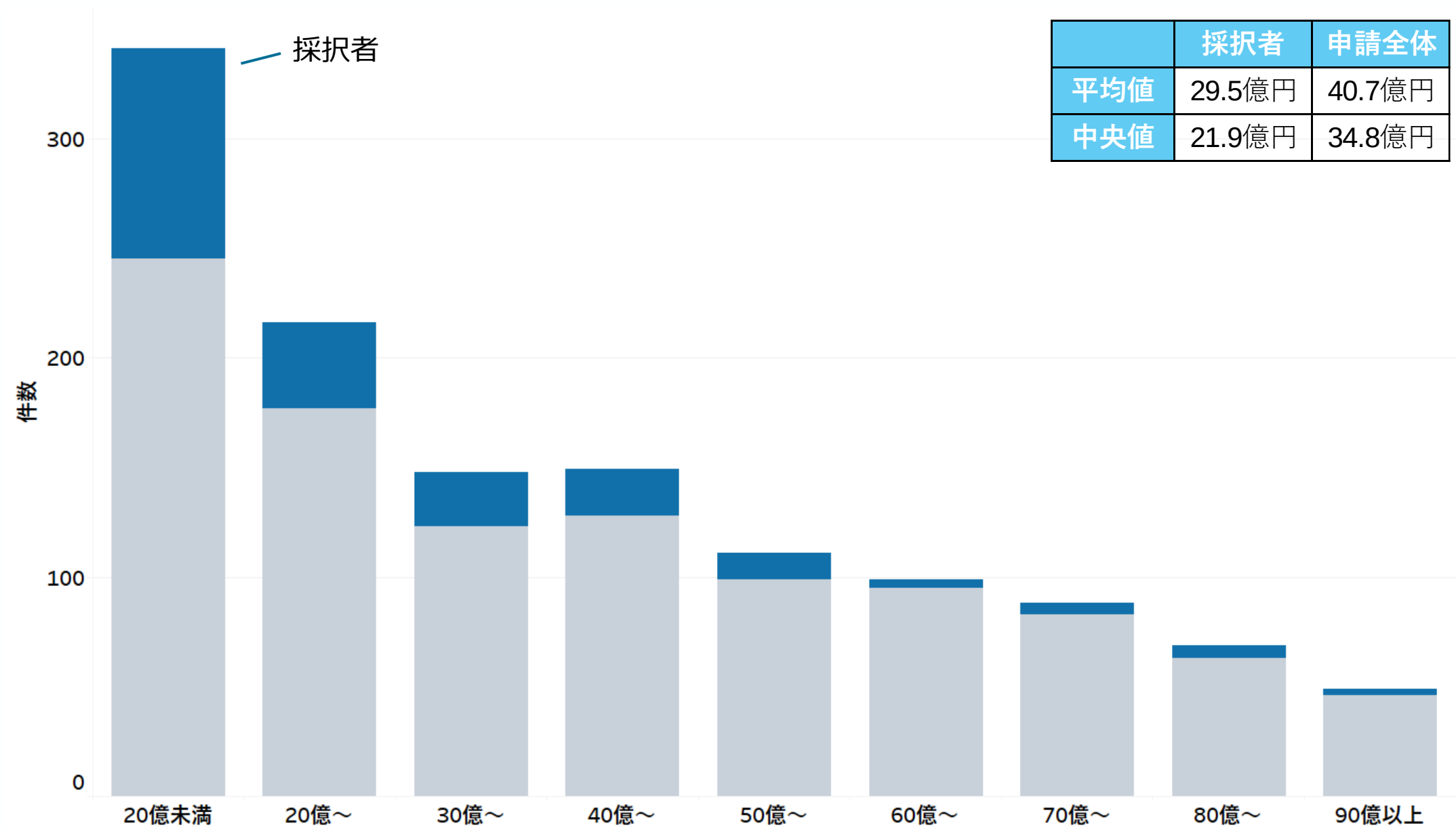
成長加速化補助金 売上高投資比率の分布



成長加速化補助金 給与支給総額(1人当たり)の増加率の分布



成長加速化補助金 売上高の分布



採択企業の特長（審査委員の感想）

【経営力】

- ・社長の考えや経験則が投資計画に落とし込まれており、社長自身の言葉で、様々な質問に対してブレずに答えられているか。
- ・経営シナリオが「絵に描いた餅」になっていないか。数字の根拠、実現するための仕組み、人材確保等の手段の全てがシンクロしているか。
- ・自社の投資対象のテーブルに乗ることが前提。補助金が取れなければ何もしない「補助金ありき」となっていないか。
- ・国内市場だけで100億到達は現実的ではなく、可能な限り早く、輸出やM&Aによる販路拡大、バリューチェーン構築などの打ち手を講じているか。

【実現可能性】

- ・市場分析について、マーケットの状況、競合の状況など解像度が高いことや、事業のダウンサイドのリスクを含めてアセスされているか。
- ・100億実現は単一事業、ワンショットの投資では難しく、成長投資と賃上げを持続できる事業のエコシステムが描かれているか。
- ・金融機関のコメントとして、プラス面ばかりではなく、課題面も把握し、経営者とともにどのように解決しようとしているか。

【波及効果】

- ・多少荒削りな計画でも、意欲的で、不連続な成長に繋がり、産業や地域に有意義な変化をもたらせるか。
- ・業種・業態の特性による違い、事業価値の増加が地域経済に与えるインパクトも重要。
- ・自社の資金力で対応することの限界。日本に技術を残すことや、地域経済への貢献など、国が補助金を使って支援する意義は何か。

今後の政策の方向性

■官民による成長ソフトインフラの構築

- ・成長資金供給の円滑化（政府系金融機関・民間金融機関）
- ・成長ソフト支援の充実（コンサル企業、公的支援機関等）
- ・経営者ネットワークの全国への拡大

■100億宣言・成長加速化補助金

- ・成長要因やエッセンスの分析、フォローアップの仕組み
- ・業種・業態の深堀や事業価値の評価
- ・地域経済に一層インパクトを与える地域企業の創出